

「第16回 ゆきかう那賀川推進会議」を開催

令和5年5月31日（水）に、阿南市役所にて、「第16回 ゆきかう那賀川推進会議」（以下、推進会議。）を開催しました。

今回の推進会議には、委員11名とオブザーバー1名の計12名が出席しました。

令和5年1月25日（水）に開催した「第15回 ゆきかう那賀川推進会議」で、今後の取組について、委員の方々からいろいろな提案をいただき、令和5年度以降新たな取組として進めていくものについて、意見交換を行いました。

令和5年度以降の取組（案）として、

- ① 那賀川探検バスツアーを年2回開催すること。1回目は那賀川の日（8月6日）に那賀町小学生を下流域の阿南市へ。2回目は11月頃に阿南市の小学生を那賀町へ、この時は森林体験（間伐体験、木育学習会等）を取り入れたもので行う。
- ② 山や森の大切さの理解を深めてもらうため、四季折々の那賀川上流域の美しい山の風景写真等を使って阿南市役所や那賀川図書館などで展示会を開催する。
- ③ 那賀川の源流、長安ロダムに設置しているモニュメントに続いて、河口にもモニュメントを設置することを検討する。
- ④ 長安ロダム貯水池の愛称「なか四季美湖」の認知度を上げていくため、なか四季美湖周辺にサイクリングコース設定を検討する。
- ⑤ 阿南市の小学生を那賀川上流域のダム群（川ロダム、長安ロダム、小見野々ダム）に遠足にきてもらうようPRしていく。
- ⑥ 那賀川をPRするためのキャッチコピーや那賀川カルタなどのグッズを検討していく。

などを説明。

国土交通省の取組として、

- 新設ゲートをさらに見やすくするため、長安ロダム下流右岸側展望所の拡幅やダムをPRするライトアップや誘導ライト設置の検討。



○なか四季美湖の地図への登録、なか四季美湖カードの作成などを進める。
○なか四季美湖を使ったSUP等のイベント等を検討していく
など取り組んでいくこととしました。

委員からは、

- ◆木育は山の中で行い、自然の中での遊び方や考えてものを作ることを学ぶようにする。
- ◆写真展では珍しい生物や自然とのふれあいなど紹介していければ良い。
- ◆サイクリングはコースとあわせ、キャンプ場等が紹介されている掲示物があれば良い。
- ◆なか四季美湖を中心にサイクリング、SUP、ランニング等をからめたトライアスロンなどをしてPRしてはどうか。
- ◆取組項目は、背景・目的・手法からどういった効果（成果）があるか、それは上下流における取組によって、産業の振興、発展につながっていくというような「物語化」していくことが重要。
- ◆上下流交流として行うものについては、上流と下流のつながりの自然や文化や歴史を知った上で、進めていくことが重要。
- ◆山の風景のPRは地元の良さをクリアに出来るので、いろいろな方にみてもらうようにする。
- ◆地域を守るためには「にぎわい」という部分が大切で、いろいろなふれあいを持つことが重要。

などの意見がありました。

これらの意見を踏まえ、今年度の取り組みについては次回の推進会議で報告する予定としました。

